



2015. 4. 7 MORIYAMA. S

「Biblio (ビブリオ)」とは、「Bibliography (ビブリオグラフィ)」の略で、「書誌学」を意味します。そこから、「書物」の意味で用いられるようになりました。

朝読書の効果

さて、今号は前号の予告通り「朝読書の効果」についてお送りします。朝読書には大きくわけて2つの効果があります。

| 豊かな心 | 読解力の育成 |
|--|------------------------------|
| 他人の気持ちがわかるようになる 主体的な生き方が育つ 友人や家族との会話が増える | 集中力がつく 読解力がつく 国語力が向上する |



読解力が上がる！

「朝読書の効果」を考えたとき、「知識が増える」「読解力・国語力がつく」など知識・学力の部分が挙げられることが多くあります。それは、もちろん一つの「朝読書の効果」に違いありません。皆さんは日本語を母国語とし、日常的に日本語を話し・聞き・書き・読んでいます。これらの日常的な経験から、皆さんはある程度日本語を使いこなしているはずですが、しかし、「長文(文章)を読む」ことは、しないでいようと思えばせずにすんでしまいます。(学校ではもちろん長文を読みますけどね！)

この「長文(文章)を読み、理解する力」=「読解力」は、**使わずにいるとすぐに衰えてしまう力**です。逆に言えば、**使うと向上していく能力**だということです。「読解力」を向上させる近道はありません。唯一、**継続した読書が「読解力」を向上させる**のです。

豊かな心が育つ！

さらに、「朝読書の効果」として注目してほしいのは、内面の成長という面です。朝読書の第一の効果はこれだと言っても過言ではありません。物語であれ、評論であれ、本の中にはその作者の考え方や生き方が少なからず表れています。**読書を通して、私たちはその考え方や生き方を学ぶことができるのです。**

また、「自分の好きな本を自分の好きなペースで読む」ということにも意味があります。**好きな本を「選択」し、読み方を「選択」することは、「主体性」の表われ**です。自ら選択し、自ら読み、自ら考え、自ら感じることで心を育てていく。そこに朝読書の最大の効果と本質があるのです。